

令和2年度

清里町教育委員会
点検・評価報告書

令和3年8月

も く じ

1 はじめに	
(1) 趣旨	1
(2) 点検・評価の対象	1
(3) 点検・評価の流れ	1
2 教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況	2～4
(2) 教育委員会会議の項目別点検	4
(3) 教育委員会以外の活動状況	5
(4) 教育委員会関連委員会の活動状況	5～6
①清里町社会教育委員兼清里町生涯学習総合センター運営審議会	
②清里町スポーツ推進委員会	
③清里町教育支援委員会	
④清里町総合教育会議	
⑤清里町学校運営協議会	
3 「令和2年度教育行政執行方針」についての点検	
(1) 総評	7
(2) 事業の点検	
■学校教育の推進	7～12
①幼児教育の振興	
②小中学校教育の充実	
③高等学校教育の振興	
■社会教育の推進	13～27
①子どもの自立を支援し、社会性を培う幼少年教育の充実	
②生きがいと活力あるまちを創造する生涯学習の推進	
③健康で心豊かな生活を実現する生涯スポーツの推進	
④まなびの輪を広げるための学習環境の整備	
⑤子どもの豊かな心を育む読書環境の充実	
4 外部評価	28～30
5 参考	
○ 令和2年度清里町教育行政執行方針	31～35

1 はじめに

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、各市町村教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

本報告書は、清里町教育委員会の効果的な教育行政の推進と町民の皆様への説明責任を果たすため、同法第26条の規定に基づき、令和2年度の教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、本報告書を作成し公表するものです。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等の点検のほか、「令和2年度清里町教育行政執行方針」に掲げられた主な事業について点検・評価を行っています。

(3) 点検・評価の流れ

「教育委員会議の活動状況」等については、教育委員会会議の開催状況や会議にかけられた議案及び教育委員会協議会において協議された議案等について、項目別に点検を行うとともに、委員が出席した学校行事等の点検を行っています。

「点検・報告書」については、「令和2年度清里町教育行政執行方針」に掲げられた主な事業について点検・評価を行い、点検・評価の客観性を確保するため点検・評価の方法や結果などについて学識を有する者から意見を聴取しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況

清里町教育委員会では、毎月1回の会議開催を基本としており、令和2年度は8回の教育委員会会議を開催しました。

この会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び清里町教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条の規定に基づき、次のとおり審議を行いました。

また、清里町教育委員会教育長に事務委任されている事項、学校教育・社会教育等の教育関連事項についての議決事項以外の案件について、教育委員会協議会を開催し、協議・報告を行っており、令和2年度は12回の協議会を開催しました。

期 日	出 席 委員数	傍 聴 人 数	付 議 案 件 (□～議案審議、○～協議会)
4月24日	4人	0人	<input type="checkbox"/> 清里町教育支援委員会委員の任命について <input type="checkbox"/> 清里町社会教育委員の委嘱について <input type="checkbox"/> 清里町生涯学習総合センター運営審議会委員の委嘱について <input type="checkbox"/> 清里町教育推進計画策定委員会設置要綱の一部を改正する要綱 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症対策のための一斉臨時休業期間等における清里町立学校職員の在宅勤務実施要領の一部を改正する要領
			<input type="checkbox"/> 令和2年度4月10日現在の児童生徒数について <input type="checkbox"/> 令和2年度学校教育の推進にあたって <input type="checkbox"/> 令和2年度社会教育事業（学校関連）等について
5月15日	4人	0人	<input type="checkbox"/> 清里町教育推進計画策定委員の委嘱について <input type="checkbox"/> 清里町社会教育中期計画策定委員の委嘱について <input type="checkbox"/> 清里町教育推進計画策定に係る諮問について <input type="checkbox"/> 第9次清里町社会教育中期計画策定に係る諮問について
			<input type="checkbox"/> 教育長行政報告について <input type="checkbox"/> 清里町奨学資金貸付基金条例の一部改正について <input type="checkbox"/> 令和2年度清里町奨学資金の貸付について <input type="checkbox"/> 令和2年度学校教科書展示会の開催について
6月12日	4人	0人	<input type="checkbox"/> 清里町学校運営協議会委員の委嘱について <input type="checkbox"/> 清里町学生等応援特別給付金支給要綱の制定について
			<input type="checkbox"/> 教育長行政報告について <input type="checkbox"/> 令和2年度6月補正予算について <input type="checkbox"/> 令和2年度要保護・準要保護児童生徒の状況について <input type="checkbox"/> OGIGA スクールについて <input type="checkbox"/> 清里高等学校総合支援対策事業の見直しについて

期 日	出 席 委員数	傍 聴 人 数	付 議 案 件 (□～議案審議、○～協議会)
7月14日	4人		○教育長行政報告について ○令和2年度7月補正予算について ○学校訪問の実施について
8月 6日	4人		○清里高等学校総合支援対策事業の見直しについて ○学校訪問の実施について
8月27日	4人	0人	□令和3年度から使用する小学校教科用図書及び中学校教科用 図書の採択について □令和元年度清里町教育委員会点検・評価報告書について
			○教育長行政報告について ○令和2年度9月補正予算について ○文化賞・スポーツ賞選考基準の改正について ○令和4年度以降の成人式について ○清里高等学校総合支援対策について
10月 1日	4人	0人	□清里町教育委員会教育長職務代理者の指名について
			○教育長行政報告について ○公立高等学校配置計画について ○清里高等学校総合支援対策事業について ○令和元年度清里町一般会計歳入歳出決算意見書について
11月 5日	4人	0人	□令和2年度清里町文化賞受賞者の決定について □令和2年度スポーツ賞及びスポーツ奨励賞受賞者の決定につ いて
			○教育長行政報告について ○総合教育会議の開催について
12月 7日	4人		○教育長行政報告について ○総合教育会議の開催について ○令和2年度12月補正予算について
1月14日	4人		○教育長行政報告について ○認定こども園について ○令和2年度1月補正予算について ○清里小学校学校改修の状況
3月 1日	4人	0人	□北海道清里高等学校総合支援対策事業実施要綱の一部を改正 する要綱 □第9地区教科用図書採択教育委員会協議会委員の任命につい て □令和3年度清里町教育委員会に関する予算の要求について □清里町教育推進計画（令和3年度～令和7年度）について □第9次清里町社会教育中期計画（令和3年度～令和7年度） について
			○教育長行政報告について ○令和3年度教育行政執行方針（案）について

			<input type="radio"/> 令和3年度公立高等学校入学者選拔出願状況について <input type="radio"/> 令和2年度一般会計補正予算について <input type="radio"/> 令和3年度児童生徒数について <input type="radio"/> 清里町奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について <input type="radio"/> 令和2年度卒業式及び令和3年度入学式について <input type="radio"/> 校長等送別会について
3月26日	4人	0人	<input type="checkbox"/> 学校医の委嘱について <input type="checkbox"/> 清里町立学校管理規則の一部を改正する規則 <input type="checkbox"/> 清里町立学校管理規程の一部を改正する規程 <input type="checkbox"/> 修学旅行の引率業務等に従事する清里町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する要領 <input type="checkbox"/> 清里町生涯学習活動車運行規程の一部を改正する規程
			<input type="radio"/> 教育長行政報告について <input type="radio"/> 教職員の異動について

(2) 教育委員会会議の項目別点検

清里町教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条の規定に基づき、教育委員会会議での議決が必要である項目のうち、令和2年度において教育委員会会議並びに教育委員会協議会にかけられた議案等を分類し、適切に付議されているかどうかの点検を行いました。

	項 目	件数
①	学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	9件
②	所管機関の用に供する財産及び管理の基本的事項に関すること	0件
③	規則その他規程の制定及び改廃に関すること	9件
④	教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申出に関すること	8件
⑤	教育委員会事務局職員の任免、その他の人事に関すること	0件
⑥	道費負担教職員の任免、分限、懲戒その他の進退の内申に関すること	0件
⑦	法令又は条例に基づく委員の任命（委嘱）に関すること	10件
⑧	教科用図書採択に関すること	2件
⑨	表彰に関すること	2件
⑩	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関すること	1件
⑪	報告事項	27件
⑫	その他	4件

令和2年度に清里町教育委員会会議並びに教育委員会協議会に付議された案件のうち、報告事項等を除いて多かったものとしては、規則その他規程の制定及び改廃に関すること、次いで、学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること、次いで、法令または条例に基づく委員の任命（委嘱）に関すること（③、①、⑦）でした。

平成27年度に策定された、清里町教育推進計画、第8次清里町社会教育中期計画に基づき、具体的な主要施策を進めてきました。また、学力向上及び高校支援等に係る諸課題等の案件が多くあり、各教育委員の活発な討議、意見交換が行われました。

(3) 教育委員会以外の活動状況

清里町教育委員会委員は、教育委員会会議以外の行事等に次のとおり出席しました。

※教育長を除く

期 日	内 容	開催場所	出席委員	備考
中止	第56回北海道市町村教育委員研修会	札幌市		
中止	オホーツク管内教育委員大会			
延期開催	清里町成人式（令和3年5月実施）	プラネット	福田代理外3名	
中止	文化祭	プラネット		
12月 7日	文化賞・スポーツ賞授与式	プラネット	福田代理外3名	
12月 7日	総合教育会議	役場庁舎	福田代理外3名	
3月 1日	総合教育会議	役場庁舎	福田代理外3名	

※その他学校行事は、感染防止対策のため出席要請なし。

(4) 教育委員会関連委員会の活動状況

① 清里町社会教育委員兼清里町生涯学習総合センター運営審議会

期 日	審 議 内 容
5月22日	○令和元年度社会教育事業反省評価について ○令和元年度社会教育施設等利用状況について ○令和2年度社会教育推進計画について
8月20日	○文化賞・スポーツ賞選考基準の見直しについて ○清里高校生海外派遣研修事業の見直しについて ○令和4年度以降の成人式の見直しについて
10月29日	○上半期事業の進捗状況について ○令和2年度清里町文化賞・スポーツ賞について ○施設使用料について
2月22日	○令和2年度社会教育反省評価について ○コロナ禍における取組について
3月24日	○社会教育施設利用料金について

※令和2年度はスポーツ推進委員との合同会議は未実施

② 清里町スポーツ推進委員会

【会議開催】

期 日	審 議 内 容
5月15日	○令和2年度事業計画について ○わんぱくジュニアクラブについて
9月 4日	○スポーツフェスティバルについて ○わんぱくジュニアクラブについて
10月 7日	○第1回わんぱくジュニアクラブについて

11月11日	○第1回わんぱくジュニアクラブについて ○事業中の感染対策について
12月8日	○第2回わんぱくジュニアクラブについて
1月20日	○第2回わんぱくジュニアクラブについて ○役員任期について ○北見・網走ブロックスポーツ推進委員等研修会について
3月18日	○令和2年度反省評価について ○生涯スポーツ体力づくり全国会議について

【事業実施】

期 日	活 動 内 容
11月14日	○第1回わんぱくジュニアクラブ 「体力測定・スポーツ塾」
中止	○斜里岳ロードレース大会
中止	○スポーツフェスティバル
中止	○自治会対抗ミニバレーボール大会

③清里町教育支援委員会

期 日	審 議 内 容
12月 1日	○令和3年度新入学児童・生徒の就学指導について ○令和2年度校内就学指導状況について

④清里町総合教育会議

期 日	審 議 内 容
12月 7日	○幼保一元化事業について ○教育推進計画の策定状況について ○各学校の現状について
3月 1日	○清里町教育大綱について ○清里町教育推進計画について

⑤清里町学校運営協議会

期 日	審 議 内 容
7月30日	○委嘱状交付 ○コミュニティスクール制度について ○学校運営の基本方針と特色ある取り組みの紹介 ○今年度のコミュニティスクールについて
3月26日	○学校評価（後期）について ○次年度の基本方針について ○令和2年度取り組み実績について

3 「令和2年度清里町教育行政執行方針」についての点検

教育行政執行方針は、町議会定例会において教育長が表明する新年度の教育行政執行についての具体的な推進方針として、教育予算とともに教育委員会において審議・決定されたものです。令和2年度事業として、その中に盛り込まれた主な施策、事業の内容の成果について内部点検を行っております。

(1) 総 評

教育行政執行方針に掲げております事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止せざるを得ないものもありました。

教育行政執行方針について、体系立てて点検することにより、次年度の方針決定に反映させることができるものと考えています。

(2) 事業の点検 <点検結果>

学校教育の推進

①幼児教育の振興

項 目	認定こども園整備事業（新規）
目 的	子どもと家庭を取り巻く状況が大きく変化する中、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な幼児期において、発達段階に応じた質の高い教育・保育の提供を行うため、新たに『認定こども園』を開設する。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・『認定こども園基本構想』策定に向け、検討組織を立ち上げ協議を行った。 <li style="padding-left: 20px;">ワーキング委員会 8回 開催 <li style="padding-left: 20px;">プロジェクト委員会 3回 開催 <li style="padding-left: 20px;">推進委員会 2回 開催 ・保護者アンケートの実施
成 果 等	令和2年度においては、こども園の開設に向けアンケート調査や他自治体の実施状況などの調査を行うとともに、運営主体や運営内容などについて検討を行った。今後も令和3年度に基本構想策定に向け引き続き検討を行い、令和8年度の開設に向け準備を進めていく。

②小中学校教育の充実

項 目	学校運営協議会の設置・活用（継続）
目 的	保護者や地域住民等の学校運営への参画・支援・協力を進めるための協議機関として学校運営協議会を設置し、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、地域をあげて児童生徒の健全育成や学校運営の改善に取り組む。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・清里小学校と清里中学校を対象に両校の運営に関し相互に密接な連携を図る必要があるため共同の学校運営協議会を設置。 ・委員は、保護者、地域住民、対象学校の運営に資する活動を行う者、当該対象学校の校長及び教職員、学識経験者、関係行政機関の職員、教育委員会が適当と認める者のうちから20名以内を毎年任命。（令和2年度任命18名） ・学校運営基本方針の承認、教育活動・学校運営に対する熟議、学校評価（中間評価、

	後期評価)などで年3回の協議会を開催。
成果等	各学校の学校運営に対する理解を深め基本方針への承認が得られる場であり、学校での活動に対し熟議が図られた。コーディネーターの活用で学校と地域を繋ぎ、自然体験、農作業体験、学校授業での講師派遣など行われた。今後も、地域から学校への支援の取り組みや、学校から地域への取り組みを議論し、さらなる開かれた学校づくりを進めていく。

項目	特別支援教育支援員配置事業（継続）
目的	清里小学校及び清里中学校に特別支援教育支援員を配置する。
取組実績	・清里小学校に2名と清里中学校に2名の特別支援教育支援員を配置 (令和2年度配置数：4名)
成果等	きめ細やかな学習指導と児童がゆとりある学校生活を送ることができた。教師の補助を行うことで、円滑な学級運営、教師の負担軽減が図られている。今後も継続した取り組みを行い、学習環境の向上を図っていくことが必要である。

項目	教育支援専門員配置事業（継続）
目的	児童・生徒の教育及び家庭や福祉上の問題について、児童生徒及び保護者等からの相談に応じ、関係機関等との調整を行いながら、指導・助言を行うため教育支援専門員を配置して問題解決に当たる。
取組実績	・教育支援専門員配置：1名 ・令和2年度相談件数：23件（教育相談、学校経営他）
成果等	教育支援専門員が、学校や家庭並びに関係機関と連絡調整を図り、問題解決に向けた指導・助言を行った。子どもを取り巻く社会環境の変化が著しい現状を鑑みると、今後も情報提供はもとより相談しやすい環境づくりを進めていく必要がある。

項目	特色ある学校づくり推進交付金事業（継続）
目的	児童生徒の学力並びに体力向上と生きる力を育むために、学校の伝統や校風、地域の特性を生かした創意ある教育活動を展開し、特色と魅力ある学校づくりを推進する。
取組実績	清里小 総合学習講師耐招聘（斜里川フライフィッシング体験・安全教室）、体力向上事業（カーリング）、家庭科講師耐招聘（裁縫）、図工講師耐招聘（陶芸） 清里中 英語力推進事業（実用英語技能検定補助）
成果等	交付金を活用して体力向上事業、体験授業、英語能力向上などの取り組みが行われ、学力向上や指導力向上に資する教育振興が図られた。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の影響で実施事業は少なくなったが、今後も効果が高く実効性のある事業の推進に努める。

項目	長期休業中の学習サポート教室の開催（継続）
目的	長期休業期間中の学習機会の促進を図り、振り返りを中心とした学習を行うことで、基礎学力の向上を図る。
取組実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

成果等	基礎的な学習能力の定着を目的としつつ、休み期間中にも友達と一緒に勉強することで楽しみながら学習することに繋がっている。また、年齢の近い高校生などのボランティアからわかりやすく指導してもらうことも、日常の授業とは違う環境が学習意欲につながるとともに、ボランティアに参加した学生たちにも充実感が得られている。次年度以降も継続的な実施することで効果が期待できる。
-----	--

項目	備品購入事業（継続）
目的	児童・生徒の学習能力や意欲の向上、健康保持を図るとともに、安全安心な学校づくりのため、小中学校の教材並びに管理機器の整備を図る。
取組実績	<p>小学校用教材等備品購入 ・楽器（コンサートバスドラム）147千円、発達検査・知能検査関連キット826千円</p> <p>中学校用教材等備品購入 ・楽器（ドラムセット）393千円、ミシン439千円、CD ラジカセ52千円、テント65千円、グラウンドライン引き36千円、光学望遠鏡・衝突実験機1,237千円</p> <p>小学校管理用備品購入 ・プリンター複合機147千円、断裁機130千円、給食配膳台92千円、レーザープリンター78千円</p> <p>中学校管理用備品購入 ・プリンター複合機147千円、モノクロレーザープリンター20千円、職員室等事務用椅子654千円、除雪機880千円</p>
成果等	各種の教材・教具の購入、管理機器の整備とともに、教育環境全般の充実・維持が図られた。

項目	遠距離通学バス委託事業（継続）
目的	遠距離通学が必要な児童生徒がいる町内全域でスクールバスを運行し、児童生徒の安全な通学の確保と利便性の向上を図る。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 上斜里線、向陽江南線、神威線、緑札弦線の4路線体制で登校下校時のスクールバスを運行。 令和2年度遠距離通学バス業務委託料：63,296千円 利用児童・生徒数：158名
成果等	スクールバスの運行により、遠距離通学生徒の安全性・利便性、保護者の負担軽減が図られた。また、一般町民も利用可能とし、自家用車等を持たない高齢者などの通院や買い物の交通手段が補完された。

項目	学校給食センター事業（継続）
目的	安全で安心な食材の提供により、児童生徒が身体に必要な栄養を摂取し、併せて食事のマナー等を身につけさせるため学校給食を提供するとともに、子育て支援の一環として児童生徒の給食費無償化を実施する。また、老朽化した設備・備品の修繕等を実施する。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度給食提供数：577名 （小中高児童生徒 400名、保育所・幼稚園 90名、教職員等 87名）

成果等	<p>清里産小麦を原料とした、うどん・ラーメン・焼きそばの提供や、玉ねぎ・じゃがいも・長いも等の各種野菜についても地元産を活用し、地産地消を推進した。JA 青年部の協力により小学3年生が「清小楽しいキッズスクール農園」で収穫したじゃがいもや清里産食材を利用した給食会を実施するなど、農業と食のつながりを学んで大切さを理解するとともに、清里産の農産物についての食育を行った。</p> <p>また、委託業者との日常的な連携や調理器具の修繕整備により、安心・安全な給食の提供が図られた。今後は、児童生徒に食に対する知識や望ましい食習慣を身に付けさせるとともに、より一層の学校給食の安全・安心な提供と地場産物の活用の促進を図る。</p>
-----	--

項目	中学校体育館床修繕事業（新規）
目的	体育館床面の劣化、損傷を修繕するとともに、競技用コートラインなど環境改善を図る。
取組実績	・床修繕工事 6,600千円
成果等	床面の張替え及び床面保護の再塗装、コートラインの引き直し、ネット支柱金物の一部付け替えなど行い、生徒が安全に適切な使用ができるようになった。

項目	清里小学校改修事業（継続）
目的	平成5年に建築した清里小学校の経年劣化がすすんでいるため、今後も安全で快適な学習環境を中長期に継続して提供できるよう、校舎及び屋体の長寿命化改修を行う。
取組実績	<p>全体工事期間 令和2年～令和4年度（予定）</p> <p>令和2年度契約（一部次年度へ繰越して実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校改修第一期工事（建築主体） 196,900千円（一部次年度繰越） ・ // （機械設備） 18,700千円（ // ） ・ // （電気設備） 25,850千円（ // ） ・学校空調設備工事（機械設備） 33,000千円 ・ // （電気設備） 43,560千円
成果等	中長期的な施設維持に必要な各種工事（外壁塗装、教室内改装など）の実施と、暑さ対策のエアコン設置、特別支援学級教室のレイアウト変更など、使用実態や学校意見に沿った環境改善工事も開始した。

項目	小中一貫教育推進事業（継続）
目的	小・中学校教育内容のそれぞれのスムーズな展開と（児童・生徒）理解が実践されるため、小学校、中学校の義務教育9年間を通したより魅力ある、効果的な学習指導等を行っていく。清里町を取り巻く現状から、平成30年度に光岳小学校を閉校し、小中学校それぞれ1校としたが、今後も児童生徒数の減少は続いていくことが見込まれる。こうした環境の下、小規模校ならではのきめ細かな学習指導、生徒指導を行っていくなかで、小中一貫教育の導入を推進する。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・めざす子ども像の検討・設定 ・重点目標の検討・設定
成果等	令和元年度から引き続き「めざす子ども像」、「重点目標」を設定した。具体的な取組み内容を決定していくにあたり、小中学校教職員が共有する場として「清里町教育

	振興会」を活用し、現場で日常的に抱える課題と解決に繋げるための検討会議を開催した。令和3年度中に具体策を取りまとめ、令和4年度からの導入を目指していく。
--	--

項 目	G I G Aスクール導入事業（新規）
目 的	国が進める「GIGA スクール構想」による補助制度を活用して環境整備を行う。ICT機器の活用が進まない教育分野において、新学習指導要領に示す論理的で深い学びを実現するため、各教科で学習ツール、情報活用能力の向上を目指すとして児童生徒に一人一台のタブレット端末を導入する。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 高速通信回線整備工事 小学校 千円 中学校 千円 インターネット回線の再構築。校内アクセスポイントの増設。 児童・生徒に一人一台タブレット端末等の機器整備 小学校 児童211台 教師・予備40台 14,112千円 収納庫3,993千円 中学校 生徒93台 教師・予備25台 6,640千円 収納庫1,419千円 その他 遠隔授業用カメラ・設定用PC他 小856千円 中416千円 導入支援の業務委託（G I G Aスクールサポーター）4,180千円
成果等	国が全国一斉に進めるG I G Aスクール構想を開始するため、インターネット回線の高速化など学校内の通信環境整備、配付用タブレット端末などハード整備が完了した。また、通信環境構築・機器設置の支援、タブレット端末使用のルール作成、授業等での活用に向けた教職員へ使用方法研修など、業務委託により企業から専門職の支援を受け準備を行った。令和3年度も支援継続。

③高等学校教育の振興

項 目	北海道清里高等学校総合支援対策事業（継続）																							
目 的	北海道清里高等学校の特色ある教育活動を支援し、魅力ある学校づくりを行うことで生徒数の確保を図る。																							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年度より実施。 通学費の補助、高体連等出場経費の補助、進路指導強化対策費の補助等を実施。 令和2年度実績は、下表のとおり <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 20%;">金 額</th> <th style="width: 50%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進路指導強化対策費補助</td> <td style="text-align: center;">863,720円</td> <td>進学模擬試験等、大学等見学等</td> </tr> <tr> <td>資格取得対策費補助</td> <td style="text-align: center;">397,191円</td> <td style="background-color: yellow;">10資格検定</td> </tr> <tr> <td>高体連等出場経費補助</td> <td style="text-align: center;">951,191円</td> <td>地区大会 10回 全道大会 01回</td> </tr> <tr> <td>特色ある学校づくり推進事業補助</td> <td style="text-align: center;">258,179円</td> <td>クラブ活動、コミュニティスクール、生徒募集活動</td> </tr> <tr> <td>入学支度金補助</td> <td style="text-align: center;">3,800,000円</td> <td>R3 新入生38名×10万円</td> </tr> <tr> <td>ニュージーランド長期留学補助</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区 分	金 額	備 考	進路指導強化対策費補助	863,720円	進学模擬試験等、大学等見学等	資格取得対策費補助	397,191円	10資格検定	高体連等出場経費補助	951,191円	地区大会 10回 全道大会 01回	特色ある学校づくり推進事業補助	258,179円	クラブ活動、コミュニティスクール、生徒募集活動	入学支度金補助	3,800,000円	R3 新入生38名×10万円	ニュージーランド長期留学補助	—	
区 分	金 額	備 考																						
進路指導強化対策費補助	863,720円	進学模擬試験等、大学等見学等																						
資格取得対策費補助	397,191円	10資格検定																						
高体連等出場経費補助	951,191円	地区大会 10回 全道大会 01回																						
特色ある学校づくり推進事業補助	258,179円	クラブ活動、コミュニティスクール、生徒募集活動																						
入学支度金補助	3,800,000円	R3 新入生38名×10万円																						
ニュージーランド長期留学補助	—																							

	町外者通学経費補助	1,140,185 円	網走市・斜里町の生徒 対象者 21 名
	国公立大学入学者支援補助	1,663,600 円	対象者 2 名
	合 計	9,074,066 円	
	<ul style="list-style-type: none"> • 小清水町からの通学バス運行補助 往路1便、復路2便、運行総日数200日、補助額 7,274,392 円 ※1・2年生から自己負担 月額1万円。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の一斉休校のため、一部自己負担減額。 • 入学資金貸付制度（清高卒業者対象） 新規貸付人数 4 名、貸付総額 1,920 千円 		
成 果 等	<p>生徒が清里町で高校教育を受け続けられるために各種支援を行ったこと、また、小清水からの通学バスの運行などにより、入学者数が維持されている。</p> <p>しかし、今後も学区内の定員は変動があることから、引き続き、事業目的と内容の精査、見直しを図りながら支援を行っていく必要がある。</p>		

社会教育の推進

①子どもの自立を支援し、社会性を培う幼少年教育の充実

項 目	子育てを考えるつどい
目 的	子どもの健やかな成長を図るため、親はもとより、地域住民が協働による学習活動を通じて共通理解を深めることを目的とする。
取組実績	中止
成 果 等	清里みらい塾「子育て講演会」へ子育てを考えるつどい実行委員会が運営協力。 次年度以降は、年1回の講師招へいによる講演会のみに限らず、子育てに関する悩みや子育てに関する学習を複数回実施できるよう検討する。

項 目	なかよしクラブ（学童保育）
目 的	保護者の就労等により保育に欠ける児童に対し、保護者に代わり保育することにより、児童の健全な育成を図ることを目的とする。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・対象 保護者が就労等により保育ができない児童1年生～6年生 ・人数 141名（最大登録人数） ・利用料 月額2,000円 ・開設期間 4月1日～3月31日（月曜日～土曜日） ※4月1日～3日・20日～5月31日は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から利用者を限定しての特別開所を実施 ・時間 放課後から17時30分（土曜日・長期休みは8時30分から） ・指導体制 学童保育指導員 7名（最小5名） ・内容 集団遊び（野外、多目的ホールでのレクリエーション）、創作活動（読み聞かせなど）、英語活動、お楽しみ会、子ども農園（農作業による農育・食育）
成 果 等	コロナ禍の中、プラネット空き部屋の活用等「密」の緩和を図ったが、現状の利用人数及び施設規模では難しい。それに併せ、利用児童の心身のケアにも留意した指導に注力したが、担当職員数の確保が難しいなか、十分な保育を行うには課題が多い。

項 目	子ども農園
目 的	農作業体験を通じて子どもとボランティアが集い、体験学習・交流活動により親子や地域の大人と子ども間のふれあいを促進し、食の大切さを伝え、子どもの健全育成を図ることを目的とする。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者 やまと幼稚園、清里保育所、なかよしクラブ、子育て支援センター ・人数 延べ230名 ・期間 5月12日（火）～11月5日（木） ・内容 幼児・児童への作物収穫体験
成 果 等	コロナ禍により、蒔き付けについてはボランティアスタッフにより実施し、収穫体験のみの実施となった。食育学習は小学校が農協と連携して実施していることから、社会教育

	事業としての子ども農園や食育事業のあり方について検討していく。
--	---------------------------------

項 目	清里高校生海外派遣研修事業
目 的	未来の清里町の担い手である高校生を海外に派遣し、異なる文化や生活を体験し姉妹都市であるモトエカ町と交流を図り、たくましく生きる青少年の育成を図る。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・時期 9月4日（金）～13日（日）9泊10日…中止 ・研修先 ニュージーランド（モトエカ町・ウエリントン）
成 果 等	<p>R2の事業中止とR5より中高生を対象としていくことにより、次年度からは下記のとおり実施する。</p> <p>令和3…清里高等学校2学年派遣を予定 令和4…清里高等学校2学年派遣を予定 令和5…中高生海外派遣研修事業として実施</p>

項 目	外国人英語講師招へい事業
目 的	幼保小学生の国際理解教育の推進・英語の基礎の定着、中高生における英語力の向上や国際交流の推進を図ることを目的とする。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・期間 通年 ・講師 ジョン フレドリック レック クレイトン ダフィー ビービ ・内容 小学校の外国語授業における国際理解教育、中・高校の英語科授業における指導、幼稚園・保育所での英語に触れる体験指導、一般市民に対する語学指導、学童保育への派遣、町国際交流事業の補助等。
成 果 等	<p>ALTの2名体制により、安定したローテーションの中、幼保、各学校へ派遣が行われており、引き続き派遣を行います。</p> <p>また、ALTを講師とした英会話教室も「大人の部活動」として実施しており、今後も異文化や外国語に触れる機会を設け、国際理解教育の推進に努める。</p>

項 目	きよさと子ども塾
目 的	次代を担う子どもへ様々な体験活動の機会の充実を図り、豊かな人間性やたくましい身体の育成を図る。また、子どもたちに関わる団体が中心となり事業を実施することにより、青少年の健全育成や地域に住む子どもたちを地域の大人が育てることを目的とする。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・主催 実行委員会（子ども会育成連絡協議会、自治会女性部連絡協議会、スポーツ少年団、連合青年団、スポーツ推進委員、プラネット'97、図書館、ゆいまーる清里） <p>1)「遊ぼ☆スタンプラリー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数 小学生43名、未就学児童13名、保護者11名 ・日時 令和2年7月23日（祝） ・内容 各団体ごとに体験ブースを設置し、スタンプラリー形式で活動を行う <ul style="list-style-type: none"> ①ペットボトルロケット（担当：清里町子ども会育成連絡協議会） ②空気砲（清里町連合青年団）

	<p>③縄跳びチャレンジ（清里町スポーツ推進委員）</p> <p>④ロボットジャンケン（ゆいまーる清里）</p> <p>⑤短冊づくり（図書館）</p> <p>⑥メッセージカード作り（清里町自治会女性部連絡協議会）</p> <p>・主催 きよさと子ども塾実行委員会</p> <p>2)「わんぱくジュニアクラブ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数 小学校1年生から5年生 32名・ジュニアリーダー2名 ・日時 令和2年11月14日（土） ・内容 「キッズザチャレンジ+リレー」 ・主管 スポーツ推進委員 <p>3)「たいけん・はっけんスクール（夏・冬）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊を伴うため中止 <p>4)「たのしいひな祭り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数（申込状況 6組14名 未就学児童8名・保護者6名） ・日時 令和3年2月23日（祝） ・内容 ペーパークラフト、読み聞かせ ・主管 清里町子ども会育成連絡協議会 ・協力 図書館
成果等	<p>コロナ禍で通年の形態では事業実施が困難であったが、対策を講じ、青少年の体験活動を実施できたことは、各団体の過去の経験と協力があったからである。次年度に向けても新型コロナウイルスへの対策を講じ、各団体の特色を活かした体験活動の充実が求められる。</p> <p>また、第9次清里町社会教育中期計画に向け、未就学児童と保護者を対象としたモデル事業も実施し、地域コミュニティ形成と青少年体験活動のさらなる充実が求められる。</p>

項目	ジュニアリーダー養成（きよさとジュニアリーダークラブ）
目的	中・高校生がジュニアリーダーとして、小学生の体験活動のサポート・アドバイスをすることを通じて、地域活動やまちづくりに参画する青少年活動リーダーを養成する。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者 中学生12名、高校生6名 ・内容 きよさと子ども塾事業における活動のサポート <ul style="list-style-type: none"> ・遊ぼスタンプラリー 令和2年 7月23日（祝） ・わんぱくジュニアクラブ 令和2年11月14日（土） ・たのしいひな祭り 令和3年 2月23日（祝）
成果等	平成24年度よりジュニアリーダー養成事業として取組み、各社会教育事業でのリーダーの活躍は評価されています。今後はリーダーが主体的に活躍できるよう、集う場を設け、リーダー養成を行う。

項目	青少年育成指導員活動
目的	町内行事における補導活動を通じて、青少年の健全育成と非行防止を推進する。

取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人数 15名委嘱（任期：平成31年4月～令和3年3月） ・活動実績 各神社祭典の中止により令和2年度は活動実績無し
成果等	新型コロナウイルス感染症により、活動が令和2年度は無かったが、各地域での納涼行事、神社祭典などで補導活動を実施し、青少年の健全育成が図られている。

項目	交換留学生事業
目的	友好都市ニュージーランドモトエカ町との友好関係を促進するとともに、国際交流及び国際理解教育を推進することを目的とする。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣…なし ・受入…なし
成果等	新型コロナウイルス感染症により、ニュージーランド、モトエカハイスクールも留学生事業を休止している。

項目	青少年芸術劇場（学校芸術鑑賞事業）
目的	町内児童・生徒・園児に優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供し、芸術・文化への興味・関心や理解を深め、豊かな情操や感性を培うことを目的とする。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校演劇鑑賞…中止 演目 「オズの魔法使い」（劇団トマト座） 期日 8月30日（木） ●中高校音楽公演…中止 演目 「夢果てるとも」（笑う猫） 期日 10月7日（火） ●幼稚園保育所演劇鑑賞…実施 演目 「風のしっぽ」（劇団風の子北海道） 期日 9月8日（火） 人数 88名 ※会場を清里町トレーニングセンターで実施。 ※幼稚園、保育所で分かれ2講演実施 ●小学校音楽公演…中止 演目 「Violin Quartet HikAblef」（HikAblef） 期日 7月9日（木） ●芸術鑑賞特別公演「HikAblefコンサート」…実施 演目 「Violin Quartet HikAblef」（HikAblef） 期日 令和3年1月15日（金） 人数 ことぶき大学 47名 なかよしクラブ60名 ※ことぶき大学となかよしクラブを対象としたオンラインコンサートを実施
成果等	コロナ禍で幼保公演以外は中止となった。3密を防ぐために、ことぶき大学となかよしクラブ児童を対象とした芸術鑑賞特別公演をオンラインコンサートのモデル事業として開催した。オンラインコンサートの課題としては、配信を見るというもので、ライブ感に欠けるという点が上げられる。次年度に向けては安全な実施方法と質の高い演目の選定について学校と協議していく。

項 目	ひよっこクラブ
目 的	幼児期の運動機能の向上を図るため、親子運動教室や親向け講座を目的とする。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・主催 教育委員会 ・期日【前期】令和2年6月20日、27日、7月4日、18日、25日 (土曜日 計5回) 【後期】令和2年10月3日、10日、17日、24日、31日 (土曜日 計5回) ・会場 清里トレーニングセンター、町民プール ・講師 上林一裕 氏(チャイルド・スポーツ・アカデミー) 他講師2名～3名 ・内容 各家庭でもできる親子運動や体操、子育て講座(保護者対象) ・参加者 【前期】10組25名 【後期】8組20名
成 果 等	<p>親子の運動プログラムについては、評価指標となるような、目標を設定するとともに、事業の充実を図りながら継続して行っていく必要がある。</p> <p>また保護者の教養学習については時代に対応した子育ての課題についての講義を実施していく。</p>

② 生きがいと活力あるまちを創造する生涯学習の推進

項 目	清里みらい塾
目 的	まちづくりについて考え学ぶ機会を提供することにより、清里町の魅力を発掘し、自立のまちづくりを支え実践する人材を育成することを目的とする。
取組実績	<p>1)「オンラインまちづくり講座」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨 まちづくりについて考え学ぶ機会を提供することにより、清里町の魅力を発掘し、自立のまちづくりを支え実践する人材を育成することを目的とする。 ・期日 令和2年5月28日(木)「オンライン会議を学ぶ」 令和2年6月 5日(金)「メディアを活用したまちづくりを考える」 ・参加者 10名 ・講師 立川 彰 氏(株式会社東テレビ) <p>2)「子育て講演会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨 子どもと保護者の意識の向上を図り、子どもの望ましい生活習慣や学習習慣の定着に向けた取り組みを促進する。 ・期日 令和2年10月30日(金) ・参加者 35名 ・講師 中谷 通恵 氏(子どもとメディア北海道 副代表) <p>※道教委主催、学力向上推進事業「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業兼ネットトラブルを未然に防ぐための保護者向け学習会と連携。</p>
成 果 等	<p>コロナ禍に対応した学習手法としてオンラインの活用を行った。ただし、ICT機器を活用した学習手法については、対応できない方(使い方・機材の有無)も多く、使い方について指導できるような機会が必要。今後もオンラインでの学習会等は行われることが想定されるので、1つの手法として継続して実施していく。</p> <p>子育て講演会についてはアウトメディアが子どもに及ぼす影響や実体を学び、家庭で実</p>

	<p>践できるアウトメディアとの関り方を学んだ。このテーマはすべての子育て世代が学べる内容であり、講座以外の啓発等に努める必要があります。</p>
--	---

項 目	ことぶき大学
目 的	高齢者同士の教養や趣味を通して交流を図り、健康で生きがいのある生活づくりに努める。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人数 57名（概ね60歳以上の町民） ・期日 8月21日（金）～3月5日（金）の26回 ※コロナ対応として、2組に分け、隔週分散登校として実施8回は全体講義。 ・内容 午前…学習講義（一般教養・健康・運動等） 午後…クラブ活動（舞踊・大正琴・民謡・書道・手芸・ パソコン・読書・カラオケ（新設））
成 果 等	令和2年度は学生に対して「学習機会」の提供だけではなく、「交流機会」の提供を推し進める形での運営に取り組んだ。ソーシャルディスタンスの確保や活動室の消毒作業等の感染予防対策を学生自らが協力し合いながら実施、修学旅行や大学祭などの定例行事は中止となったものの、オンライン形式でのコンサートを体験する等、コロナ禍における新たな学習スタイルを実践することができた。

項 目	高齢者合同運動会
目 的	レクリエーション運動を通じ、健康と高齢者同士の交流を図ることを目的とする。
取組実績	<p>※高齢者合同運動会は中止。代替えとして、ことぶき大学と老人クラブ連合会との合同パークゴルフ大会を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●清里町老人クラブ連合会・ことぶき大学合同パークゴルフ大会 ・期日…9月25日（金） 緑が丘公園パークゴルフ場 ・対象…ことぶき大学生・町内老人クラブ ・人数…39名 ・内容…パークゴルフ
成 果 等	例年100人規模で実施していた合同運動会は会場（清里トレセン）の利用人数上限に達し実施できなかった。屋外での活動は、屋内の活動よりも幾分か密への懸念も少なく、参加者へのストレスの緩和には繋がったものとする。次年度も、屋外会場を選択肢に入れつつ、楽しんでもらえる内容を検討したい。

項 目	第64回町民文化祭
目 的	町内文化団体が一同に会し、日頃の練習の成果を発表することにより町民の文化活動への興味を喚起し、各文化団体のPR・活性化を図る。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・期日 12月 5日（土）～12月 6日（日）…中止 ・主催 文化連盟 ・内容 一般展示、小中高校音楽発表会、舞台発表
成 果 等	感染症対策のため中止としたが、展示部門については、代替え企画として「清里アート作品展」を実施し、活動の発表機会を提供することができた。今後は次年度の開催に向けた実践方法や内容について文化連盟と協議していく。

項 目	プラネットステージ公演事業
目 的	広く町民に優れた芸術文化の鑑賞機会を提供する。
取組実績	●熱帯 JAZZ 楽団～25th anniversary～アルバム発売記念公演 IN 北海道 ・期日…令和2年11月16日(月)…中止
成 果 等	次年度振替公演として検討中。

項 目	おとなの部活動
目 的	幅広い分野での講座内容を実施し、住民が広く知識や教養を高め、講座を通じて同じ趣味を持つ人達の仲間づくりのきっかけとすることを目的とする。
取組実績	1)「ZOOM 体験ミニ講座」 ・期日 令和2年9月16日(水) ・参加者 5名 ・講師 生涯学習課職員 ・内容 ウェブ会議ソフト「ZOOM」の基礎的な体験会 2)「ジョンとクレイトンの英会話教室」 ・期日 令和2年11月27日、12月4日、11日 (全3回、毎週金曜) ・参加者 10名 ・講師 ジョン フレドリック レック クレイトン ダフィー ビービ ・内容 自己紹介、日常英会話、間違いやすい英文等
成 果 等	町民参画型の事業としているが、今年度は企画提案が0件であり、教育委員会主催の事業を実施。オンライン会議等に対応するための基本操作の学習会やALTを講師とした英会話教室を実施。 おとなの部活動については、個人の趣味・教養を学習機会とし、地域コミュニティーの形成を目的としており、より自由度の高い事業としていく必要がある。また、町民から自主的な企画提案が上がるよう事業周知を強化していく。

項 目	まちかどギャラリー
目 的	町内で活動している団体・個人の作品を展示することにより、広く町民が芸術作品に触れる機会を提供する。また、多くの町民が鑑賞することにより、町内で活動している団体の活動について知る機会とする。
取組実績	●展示団体実績 1)「美しい村連合パネル展」 令和2年 9月29日(火)～10月11日(日) 2)「清里アート作品展」 令和2年12月 1日(火)～12月13日(日) 3)「第42回書初席書大会作品展」令和3年 2月 2日(火)～ 2月10日(水)
成 果 等	実績が少ないことから、個人や各種団体に対して開催の呼びかけを積極的に行っていくとともに、SNSなどを活用した開催の周知についても強化していく必要があります。

項 目	社会教育関係団体への支援
目 的	各種社会教育関係団体の活動に対し指導・助言を行い、団体活動の活性化を図ることを

	目的とする。
取組実績	・文化連盟・連合青年団・自治会女性部連絡協議会・郷土芸能保存会・プライズクラブ・子ども会育成連絡協議会・PTA 連合会・老人クラブ連合会への支援
成果等	社会教育関係団体の将来を見据えての支援が必要です。各団体の事業内容も確認し、円滑な団体運営が行われるように適切な指導、助言を行うことが必要。

項 目	町民海外派遣事業
目 的	町民を海外に派遣し、産業・経済・社会・文化等に触れ、国際的視野を広め地域課題やまちづくりを永続的に発展させる人材の育成を目的とする。
取組実績	新型コロナウイルス感染症による渡航制限等のため中止
成果等	住民企画の研修内容のみならず、ニュージーランドとの交流促進に努め、地域づくりの促進に繋がる研修プログラムの構築が必要である。また、各団体からの参加を促し、地域の担い手育成につなげていく。

項 目	図書館資料の充実
目 的	多様化した住民の学習ニーズにこたえる。
取組実績	・図書購入冊数… 2, 446冊 ・視聴覚資料購入数 … 85本 ・本館貸出冊数… 22, 601冊 ・除籍数 … 2, 210冊
成果等	町民の暮らしや本町の産業振興に役立つ資料を収集・購入し提供した。郷土資料についても収集・整備に当たった。図書館資料の除架・除籍を行い、除籍本は町民に無料で提供して再利用を図った。

項 目	館外貸出しの促進
目 的	図書館から距離のある学校や保育所、支所に定期的な資料の配置を行い、地域住民の読書要求に応える。
取組実績	・団体貸出数 … 6, 164冊 幼稚園1, 520冊、清里保育所1, 320冊、札弦保育所840冊、子育て支援センター480冊、清里小学校1, 838冊、清里中学校100冊、保健センター50冊 ・地域文庫貸出数 … 51冊
成果等	小学校や保育所、幼稚園等及び札弦・緑文庫についての貸出は前年と同程度である。なお、札弦・緑町地区住民が来館し図書を借りる方は相当数いるが、交通手段のない方に対しては、支所までの「図書館資料配送・回収事業」も行っているものの利用者は少ない。

項 目	リクエストサービスの充実
目 的	利用者の必要な資料及び情報の提供を行い、良質なサービス提供に努める。
取組実績	・リクエストに応じた新刊書の購入… 76冊 ・相互貸借…借受52冊・貸出16冊
成果等	リクエスト本については、専門書を除いて概ね要望に応えることができた。また、当町

	図書館が所蔵していない資料については、近隣や道立図書館の協力により提供することができた。
--	--

項 目	図書館情報資料の発行
目 的	定期的な蔵書情報の提供等を行い、図書館の利用促進を図る。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だよりの発行…12回（毎月） ・町広報誌、ホームページ更新～随時 ・公共施設及び町内各事業所等へ図書館だよりを設置、配布 ・小中高校生向けの図書館だよりの発行 <ul style="list-style-type: none"> 小学生向け ～ 2回 中・高生向け～ 4回
成 果 等	<p>「図書館だより」を公共施設や町内事業所等を通じて町民に配布するとともにホームページにも掲載することにより新刊書などの情報を発信し、読書意欲の喚起に努めた。</p> <p>小中高校生向け図書館だよりについては、世代に合った本を紹介し、興味をもってもらうために発行しているが、小学生は反応があるものの、中・高校生の来館者は少なく、利用にはつながっていない。今後も工夫しながら進めていく必要がある。</p>

項 目	図書館事業の開催
目 的	図書館事業の実施により、子どもや町民の読書活動の推進及び図書館の利用促進を図る。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●読書月間の設定～夏、冬（2回） <ul style="list-style-type: none"> 内 容…「夏休みの本棚」、「冬休みの本棚」 ●古本市 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 <ul style="list-style-type: none"> 内 容…寄贈いただいた古本、CD等を産業まつりに合わせ販売 ●図書館まつり 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ●本と雑誌のリサイクル <ul style="list-style-type: none"> 内 容…図書館で除籍した雑誌・書類の無料提供 雑誌提供期間～令和2年11月1日（日）～12日（木） 一般書・児童書提供期間～令和2年11月20日（金）～12月20日（日） ●本の交換会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 <ul style="list-style-type: none"> 内 容…利用者のお勧め本と他の方が用意した本を交換するイベント ●オリジナル図書カードづくり <ul style="list-style-type: none"> 実施日～令和3年1月7日（木）～14日（木） 参加者～幼児～一般 74名 内 容～自分の好みに合わせた自分だけの図書カードの製作 ●今月の本棚コーナーの設置（通年） <ul style="list-style-type: none"> 4月～春だ！家庭菜園にチャレンジ 5月～卓上旅行に出かけよう 6月～こころの健康 7月～免疫力を高める 8月～怖い話～あなたの知らない世界 9月～スポーツの秋 10月～飲み物いろいろ 11月～詩・短歌・俳句を読もう！ 12月～嵐主演ドラマ・映画原作本 1月～おもちゃ 2月～新型コロナウイルス関連本 3月～3. 11の記録 ●特設コーナーの設置

	○新刊書コーナー ○若い人に贈る読書のすすめ ○としょかんどうぶつえん ○感染症を知ろう	○映画・ドラマの原作本（通年） ○敬老の日読書のすすめ2020 ○クリスマスの絵本 ○本屋大賞
成果等	多くの町民に図書館を利用していただくために、時期に応じたタイムリーなテーマを設定して事業を実施した。 しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者と貸し出し冊数ともに前年度と比較して減少している。 今後は一般成人向け事業を増やしていくことなど、新たな図書館利用者を増やしていく事業展開が必要である。	

項目	図書館システムの運営管理	
目的	利用者への良質なサービスの提供を図るとともに、図書管理業務の効率化を図る。	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> インターネットによる蔵書情報提供 インターネットによる貸出予約の実施 ～20件（貸出中の図書に限定） 	
成果等	自宅のPCやスマートフォンで蔵書検索や予約が可能なおことから、利用者の利便性向上と効率的な管理運営が図られた。	

項目	本の宅配サービス	
目的	新型コロナウイルス感染症による図書館臨時休館期間中の図書サービスの継続を図る。	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 実施日～令和2年4月23日（木）～30日（木）、5月12日（火）～29日（金） 貸出冊数～346冊 内容・新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言を受け、図書館が臨時休館していたときに、利用者から電話・FAXで注文を受け、本の宅配サービスを実施。 	
成果等	当初の予想を超える多くの利用があり、好評であった。	

③ 健康で心豊かな生活を実現する生涯スポーツの推進

項 目	さわやか健康講座
目 的	生活習慣の改善・予防と特定保健指導対象者の運動指導を効果的に行う。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・期日 9月10日から12月10日(毎週木曜日)全14回 ・人数 エアロビクス26名、トレーニング指導16名 ・講師 渡辺 靖徳 氏、大友 孝仁 氏、橋本 由香 氏(サークルウィズサークル) ・内容 ストレッチング・コンディショニング・体幹・筋力トレーニング・有酸素運動・身体測定・体力テスト・栄養指導 等
成 果 等	新規登録者数が13名増加した。運動の習慣化が目的であり、運動の習慣化へ向けた具体的な取り組みが必要である。体幹の強化をテーマとして、講座前後に測定を実施し、測定した方のうち22名で腹囲の減少と腹筋回数の増加がみられた。運動を習慣づけるきっかけづくりとして今後も継続するとともに、参加者の事業後の運動実態を検証する必要がある。

項 目	いきいき健康セミナー
目 的	介護予防対策(転倒防止及び寝たきり防止)のための運動指導を効果的に推進する。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・期日 9月10日から2月18日(毎週木曜日)全22回 ・人数 初心者クラス21名、上達者クラス13名 計34名 ・講師 渡辺 靖徳 氏、大友 孝仁 氏、田邊 かおり(サークルウィズサークル) ・内容 体力測定・ストレッチング・エアロビクス・筋力トレーニング・教養講座 等
成 果 等	<p>コロナ対策として2クラスに分けて実施した結果、参加者に合った運動プログラムを実施することができた。下半身の強化、歩行を意識した動きのある運動をテーマに実施。体力測定を前後に実施したが、女性は柔軟性と歩行能力、男性は柔軟性に課題を残した結果となった。</p> <p>今後も、プログラムの改善や教室終了後の自主的な運動の継続を促す方法も取り入れながら実施していきたい。</p>

項 目	各種スイミング教室
目 的	世代ごとに目的に応じた教室を開催することにより、水泳技術の向上及び体力向上、健康なからだづくりを目指す。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやか水中ウォーク教室 6月24日から7月3日 全4回 参加者11名 講師 田邊 かおり 氏(サークルウィズサークル) ・いきいき水中運動教室 6月25日から9月3日 全9回 参加者13名 講師 田邊 かおり 氏 ・アクアビクス教室(一般) 6月22日から7月27日 全6回 参加者15名 講師 鈴木 弘子 氏、泉 りか 氏(サークルウィズサークル) ・シニア水泳教室(高齢者) 7月8日から7月22日 全5回 参加者10名 講師 児玉 隆博 氏(JSS きたみスイミングスクール) ・スイミング教室(一般) 8月5日から8月26日 全5回 参加者12名 講師 児玉 隆博 氏(JSS きたみスイミングスクール) ・少年少女水泳教室 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

成果等	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業開始が1カ月半程度延びたことで実施回数を減らすこととなった。また、少年少女水泳教室については、児童の特性から密を避けることが困難と判断し中止。一般（高齢者）対象の事業については、使用するプールコースの広さから定員15名に限定実施。
-----	---

項目	トレーニング教室
目的	各競技種目に合った講習会の開催により、トレーニングセンターの利用者や指導者等の技術向上を図る。
取組実績	1) トレーニング教室 <ul style="list-style-type: none"> ・期日 令和3年2月18日、2月25日 2回 ・人数 一般（中学生以上）12名 ・講師 大友 孝仁 氏（サークルウィズサークル） ・内容 ストレッチ・体幹トレーニング・筋力トレーニング 2) ストレッチーズ教室 <ul style="list-style-type: none"> ・期日 令和3年3月3日、4日、10日、11日 ・人数 一般 21名 ・講師 田邊 かおり ・内容 ストレッチーズの基礎 ※ストレッチーズは布を使用したエクササイズで、手足を動かし、身体のバランスを整える効果が期待される。
成果等	股関節の柔軟・肩甲骨周りの可動域を広げるなどの柔軟性向上とストレッチポールを使った体幹トレーニング、マシンを使った筋力トレーニングを行った。 一般の新規参加者の増加に向けた取り組みが必要である。

項目	各スポーツ団体への支援
目的	各種スポーツ教室の開催や各種大会運営の協力など、各スポーツ団体を支援することにより、町民各層がスポーツに親しむ機会となり、日常的に運動を行う意識付けを図る。
取組実績	・スポーツ少年団協議会、スポーツ協会への支援
成果等	各団体への財政的な支援により、各団体事業の推進が図られた。

項目	第42回斜里岳ロードレース大会
目的	町民の健康増進とスポーツの振興を図るとともに、多くの町外者の参加を促し、交流人口の増加と町内経済の活性化を図る。
取組実績	・期日 令和2年9月20日（日） コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
成果等	コロナウイルス感染症の感染防止対策を選手及びボランティアに対し十分行える環境にないため中止することとした。

項目	スポーツ合宿等誘致
目的	企業・大学等の質の高いスポーツ・文化団体を誘致し、児童・生徒をはじめとする、町民のスポーツ・文化の振興発展及び地域活性化を図る。

取組実績	・東京大学 陸上運動部 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
成果等	東京大学陸上運動部による合宿は、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から東京大学陸上運動部が中止を決定した。

項目	各種ウィンタースポーツ教室の開催
目的	ウィンタースポーツ教室の開催により、トレーニングセンターの利用者や指導者等の技術向上を図る。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・初心者スケート教室 1月6日 参加者27名 ※7日、8日は天候不良により中止 講師…スケート協会 ・一般スキー教室（ベーシック・レベルアップ） 1月28日～2月18日（7回） 延べ87名 講師…スキー協会 ・ジュニアスキー教室 1月27日～2月19日（8回） 延べ75名 講師…スキー協会
成果等	<p>スケート教室は、小学校1年生～3年生の初心者を対象として30名の定員で実施したが、天候不良により1日のみの開催となった。積極的な参加がみられ指導者の確保についても協会等の協力により充足している状況にある。</p> <p>スキー教室は、ジュニアがジュニアバジジテスト受講者、一般はベーシック、レベルアップの2コースで級別テスト受講者を対象とした。いずれも定員20名で募集しジュニアは定員を超える申し込みがあったが、一般は15名にとどまった。降雪不足によるスキー場オープンの遅れにより、1週間遅れで実施したが、ジュニアはバジジテストの日程が2月20日に変更となったため、遅れた一週間分を後半に組み入れることができた。</p> <p>コロナ禍での対応として定員を限定したが、ジュニアに関しては今後も大幅な増加が見込まれる状況にある。</p>

④ まなびの輪を広げるための学習環境の整備

項 目	生涯学習活動車の運行管理
目 的	生涯学習活動車（バス）を運行することにより、市民の学習活動や地域活動等を支援する。
取組実績	・生涯学習活動車の運行管理 運行回数 130回 10,090キロ
成果等	一般団体の利用はほぼゼロであった。学校行事中心の運行となった。感染予防対策のため1台あたりの乗車定員を少なく設定して運行しており、これまで1台で対応していたものも、一部2台での運行となった。

項 目	社会教育施設の改修・備品購入等
目 的	社会教育施設の改修・備品購入により、施設利用者の安全安心な利用を促進するとともに利便性の向上を図る。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホール移動観覧席修繕工事（自動制御機器の一部交換・修繕） ・ホール調光器盤関数発生器交換工事（各ホールの調光器盤関数発生器の交換） ・教育施設新型コロナウイルス感染症対策事業（加湿空気清浄機 10台購入） ・多目的ホール舞台幕修繕工事（舞台幕の一部修繕） ・廊下補強工事（研修室からステージにかけての廊下壁面の一部補強） ・非常用照明修繕工事（非常用照明の更新） ・冷暖房自動制御修繕工事（温度制御機器の更新・修繕） ・木製建具修繕工事（ロッカー等建具表面の部材の張替等） ・外構補修工事（通路インターロッキングの一部アスファルト化） ・備品購入（草刈機の更新） ・清里トレーニングセンター煙突改修工事（鋼管煙突新設・旧煙突封鎖） ・清里トレーニングセンター時計設備更新 ・清里トレーニングセンター自動血圧計購入 ・緑スキー場スノーモービル更新
成果等	生涯学習総合センター、清里トレーニングセンターの安心安全な利用のために各種修繕を行った。 また、生涯学習総合センター、清里トレーニングセンター、緑スキー場においては設備及び備品等の購入により快適な利用のための整備が図られた。

⑤ 子どもの豊かな心を育む読書環境の充実

項 目	こども読書の日
目 的	図書館事業の実施により、子どもや町民の読書活動の推進及び図書館の利用促進を図る。
取組実績	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
成 果 等	

項 目	スタンプカード事業の実施
目 的	図書館事業の実施により、子どもや町民の読書活動の推進及び図書館の利用促進を図る。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日 通年 ・対象 小学生 ・内容 スタンプラリー（本を1回借りるごとにスタンプを1個押し、45個達成で賞状と記念品贈呈及び小学校へ通知）
成 果 等	本に親しむきっかけづくりとして取り組みを進めており、今年は3名の達成者がいた。本に親しむためのきっかけづくりとして今後も継続していきたい。

項 目	図書館司書の学校派遣
目 的	児童生徒の読書活動の推進及び学校図書館の運営改善、機能向上を図る。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日 各小中学校週1回 ・派遣先 清里小・清里中 ・内 容 学校図書室の選書、蔵書登録及び整備点検、仕分け、修繕等
成 果 等	<p>図書館司書による書架整理や新着図書の展示方法の変更により、目的の図書が探しやすくなり図書室の利用促進に繋がった。</p> <p>また、毎週の図書委員会に参加し助言と指導を行った結果、生徒の意欲が反映された図書室づくりを行うことができた。</p>

項 目	日本ハムファイターズ読書推進キャンペーンの実施
目 的	日本ハムファイターズと連携したキャンペーンの実施により、子どもの読書活動を推進、図書館の利用促進を図る。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日 7月23日（木）～9月1日（火） ・参加者 19名 達成者10名 ・内 容 図書館と日本ハムファイターズが連携して小学生の読書を促進するキャンペーン、規定の冊数を読み終えた児童には日本ハムファイターズからロゴ入りシャープペンシルが提供された。
成 果 等	日本ハムファイターズと連携したキャンペーンを実施することにより、ファイターズファンの読書推進と新規のファン獲得の相乗効果になり、小学生の読書が促進された。

4 外部評価

(1) 学識経験者

氏名	藤森 忠雄 氏	所属	元北海道清里高等学校校長
----	---------	----	--------------

(2) 聴取日等

令和3年8月24日（火） 場所：清里町生涯学習総合センター

(3) 主な意見

① 教育委員会の活動状況について

令和2年度に開催された教育委員会会議並びに教育委員会協議会は、教育行政を取り巻く環境の変化に対応し、教育予算の執行、規則・規程等の制定や改廃等について、迅速な審議がなされ、その機能を果たしていると認められます。

審議状況を見ると、協議事項が多数を占めており、学校教育・社会教育などの教育委員会所管事務について、多岐にわたり委員間での話し合いがなされているものと思われます。また、教育委員会会議以外の各種行事等への出席については、昨年冬に発生した新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大、オホーツク管内でも感染者が出るに至ったことで関係者との交流機会も減り、学校視察等を通じて現場の声を聞くなど、教育の実態把握の機会が減り、苦慮されている状況がうかがえます。

また、町と教育委員会が重要施策などについて協議・調整する「総合教育会議」が開催され、町長と教育委員会の意思疎通が図られ、本町教育の課題及び目指す姿等を共有し、連携して効果的に教育行政が推進されています。

② 点検・評価報告書について

点検・評価報告書は、「令和2年度清里町教育行政執行方針」に掲げられた主な事業ごとに、内容・事業費・成果を把握し、自己評価がなされており、教育委員会議及び教育委員会協議会での様々な意見を取り入れて、実施されています。

学校教育では、継続して私立幼稚園に係る保護者の負担軽減措置の実施や認定こども園の整備にむけた準備が開始されたほか、国のGIGAスクール構想に基づく1人1台端末の整備など、小中学校教育課程の実施に必要な教材等が整備・活用され、今後の学校施設が中長期的に適切に維持管理されるよう計画に基づき小学校の大規模改修を開始し、よりわかりやすい授業、安全に楽しく学べる教育環境づくりに取り組まれ、今後さらなる充実が図られることを期待いたします。

また、相談体制の充実のために教育支援専門員の配置、学習の基礎・基本の定着のための学習支援員の配置、さらに個別の支援を要する児童生徒への学習環境を整えるために特別支援教育支援員を町費負担により配置するなど、きめ細やかな指導に対する支援を継続して行っております。さらに、小・中・高校の連携事業の推進や、「特色ある学校づくり交付金」の活用により、英語検定補助、体験型学習など「生きる力」を育む取り組みが実施されていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で長期休業期間中の学習サポート教室が開催できないなど、本来学校において集団で学ぶ機会である行事などの多くが、中止や延期、開催方法を変更せざるを得ない危機的状況に直面しました。こうしたなかで、教職員、保護者、行政が協力して子どもたちの学び、成長への影響をできる限り小さくするため、努力されています。

児童生徒の日常的な安全確保のため、登下校等の見守りを補う防犯カメラの設置などが行われていますが、他県で発生した通学路での痛ましい交通事故などを再び起こさないためにも、引き続き登下校の安全確保が進められることを望みます。

今後とも、各種研修会への積極的な参加や先進地の事例を参考にするなどして、教育内容のさらなる充実が図られるとともに、地域人材等が学校運営に関わるコミュニティスクールの効果的な活用が図られるよう、各学校への指導・助言を進めていただきたい。また、学校における英語教育の充実を図るため、これまで以上に英語講師と学校との連携をより一層強化され、グローバルな環境にも興味を持てる人材の育成に向けた学習環境を整えていくことを期待いたします。

清里高等学校に対しては、魅力ある学校づくりのため、部活動支援、進路指導強化対策費補助、資格取得対策費補助、大学等進学時の入学資金貸付制度、小清水からの通学バス運行、希望者への給食提供事業など、積極的な支援が実施されておりますが、引き続き高校の状況を把握するとともに、魅力ある学校づくりに向け、真に生徒が学びたい教育内容の構築や環境の整備が推進されることを期待いたします。

社会教育では、青少年の健やかな成長を育む支援活動の推進や、成年・女性・高齢者を対象とした主体的な活動の場を創造するための学習機会の提供が行われています。特に、きよさと子ども塾事業においては、社会教育関連団体が連携のもとスポーツや文化活動、野外体験活動と様々な分野の学習機会が提供されております。また、幼児やその保護者向けの事業についても進められており、今後も、清里らしさや清里ならではの教育メニューの構築やより実践的な学習が推進されることを期待いたします。

芸術・文化活動については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止しておりますが、「青少年芸術劇場」などの公演事業を通して優れた芸術文化の鑑賞機会の提供が行われています。

図書館事業では、多様化した住民の学習ニーズに応えられるよう、蔵書の充実を図るとともに、図書館だより等による情報提供が行われています。また、図書館の利用促進を図り、読書意欲を喚起するための様々な事業が行われております。さらに、「子どもの読書活動推進計画」に基づき、司書の学校派遣も行われ、学校図書の実績も図られています。これからも「知の情報拠点」として、多くの町民に利用される図書館づくりと子どもの読書離れが進まないよう、活字に触れ合う機会の継続を望みます。

生涯スポーツでは、健康で生きがいのある暮らしを育むため、健康増進や予防運動のための講座や、子どもたちも含めた年齢層や目的に合わせた体力増進のための運動教室が行われています。様々なニーズに呼応した教室が行われていることは、町民の活動の幅が広がる良い機会の提供になっているものと考えます。今後も年次的な施設の整備を行いながら、町民の健康づくりに寄与する生涯スポーツ活動の展開を期待いたします。

新型コロナウイルス感染症により例年どおりの事業実施が難しい中、中止を選択せざるを得ない事業もありましたが、感染防止対策に十分配慮して事業が実施されてきました。このコロナ禍で大勢が集まることができず、人との接触が制限され、引きこもりがちになっている生活の中で求められる事業や、ICTを活用した新たな事業形態への対応も必要となっております。今後も、将来を見据えた、時代のニーズに合わせた事業の企画、実施に期待いたします。

(4) 総合評価

教育委員会会議等の運営は、議案審議に終わることなく、当面する様々な課題等についても研鑽・協議が行われています。今後も、教育を取り巻く更なる課題に対応した施策の推進に向け、

十分な論議や審議を行うとともに、教育現場である学校や社会教育施設などへの訪問・授業参観・視察活動を充実させるなど、柔軟かつ積極的な教育行政の推進と、教育委員会組織の活性化に向けた努力を期待いたします。

施策の展開においては、全体としては適切であると考えますが、教育制度や子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で、時代に対応した効果的な取り組みが重要となります。各施策の課題等については、事業の取り組みの充実、見直しを図るなど、施策の目的・目標の達成に向けて適切に取り組んでいただきたい。

小学校の統廃合以降も、子どもたちの人数の減少は続き、子どもたちが元気に学べるよう引き続き配慮する必要があると考えます。また、学童保育の更なる充実や、既に取り組みが進められている小・中・高の連携の中で、清里町における小中連携教育の研究の取り組みを期待いたします。コミュニティスクール事業については、より一層学校教育と社会教育の連携・融合により、住民の自主的な活動や活躍の場を生み出すことができる効果的な教育が推進されることを期待いたします。

最後に、新型コロナウイルス感染症の国内での感染収束は未だ見通せませんが、感染への恐れや行動自粛、抑圧的なムードなどの影響は、成長期の子どもたちへの影響はもちろん、地域住民の交流や生きがいといった活力を奪う事態にもなっています。困難な状況が続きますが、児童生徒の保護者、地域住人、学校、教育関係機関の連携により、学校教育、生涯学習の機会確保を模索し、対応にあたられることを切に願います。

新たに策定した「清里町教育推進計画」及び「第9次清里町社会教育中期計画」に基づいて、これからの清里町の教育を総合的に推進することを期待いたします。

5 参考

○ 令和2年度 清里町教育行政執行方針

令和2年度清里町教育行政執行にあたり、主要な方針についてご説明申し上げ、町議会をはじめ、町民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

現在日本では、AIの技術が私たちの暮らしの中で実用化されはじめている一方、人口減少や少子高齢化を起因とする地方を取り巻く課題は山積する一方です。

そして、そのことは児童生徒の学習環境にも影響を及ぼしており、しっかりとした状況の把握と、着実な対応が求められています。

こうした中、小学校では令和2年度、中学校では令和3年度より新学習指導要領による教育がスタートし、小学校における教科としての「英語」の導入、思考力や判断力、表現力などの育成を目的とした「プログラミング教育」がはじまります。

また、社会教育においては、人口減少時代の新たな地域づくりを目指した人づくり、つながりづくりといったことが必要であるとされています。

本町におきましては、国が行う教育課程の見直しなどには速やかに対応しつつ、地域における教育課題や、児童生徒を取り巻く環境の変化を適切にとらえながら教育を推進していく必要があります。

そのための基本的な考え方を示したものが「清里町教育推進計画」であり、地域の教育資源を活かしながら、着実に推進してまいります。

なお、これらの推進にあたっては、「総合教育会議」とおして町と教育委員会が情報や課題について共通認識を図りながら進めてまいります。

こうした基本的な考えのもと、今年度取り組んでまいります主な施策について申し上げます。

1. 「心豊かで自信と誇りと夢を育む学校教育の推進」

幼児教育は、社会性を身に付けるための基礎を培い、就学に向けた準備期間として大変重要な役割を果たしていることから、町内の私立幼稚園に対して運営費の補助を行うとともに、保護者に対しては、給食費の補助を行ってまいります。

また、就学に向けた幼稚園・保育所と小学校間の情報共有や連携に努めてまいります。

さらに、就学前の幼児教育と保育を一体としてとらえ、一貫して提供する「認定こども園」の開設に向けた準備を、教育委員会が主体となり、町と一体となって進めてまいります。

小・中学校における教育については、新学習指導要領に対応した基盤整備をはじめ、本町児童生徒が抱える課題の解決に向けた教育現場に対する適切な支援を行ってまいります。

児童生徒の学力向上については、夏・冬休みに実施する「学習サポート教室」や「学習支援員」の配置によるきめ細やかな指導を行うとともに、「特色ある学校づくり交付金」事業などにより教育の質を上げる取り組みを行ってまいります。

また、「家庭学習の手引き」を有効活用しながら、小中9年間をとおして家庭における学習活動の定着が図られるよう指導してまいります。

児童生徒の体づくり・体力向上については、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果により浮き彫りとなった課題について、小中学校で分析を行い、体育の授業や部活動の指導の中で取り組んでまいります。

また、町内で開催される各種スポーツ大会や社会教育事業への参加促進、家庭に対する働きかけなどにより、日常的な運動習慣の定着を図ってまいります。

いじめや不登校問題、児童生徒の心の教育につきましては、未然防止の観点からの道徳授業における指導、日常的な児童生徒の観察や教職員全体での情報共有、アンケート調査による把握に努めてまいります。

また、様々な活動をとおしてコミュニケーション能力の育成を図るとともに、「教育支援専門員」や「スクールカウンセラー」による相談体制の充実を図りながら、「清里町いじめ防止基本方針」に基づいて対応してまいります。

特別支援教育につきましては、「育ちの手帳」を活用し、児童生徒の成長過程や支援内容などの情報を幼稚園・保育所から高校まで一貫して共有し、子どもの特性に応じたより効果的な支援が行われるよう努めてまいります。

また、特別な支援を必要とする児童生徒に対応するための「特別支援教育支援員」を配置するとともに、発達検査等の器具を新たに導入し、よりきめ細かく児童生徒の状況を把握し、適切な支援を行ってまいります。

国際理解教育につきましては、引き続き外国人英語講師2名を配置し、幼稚園及び保育所に派遣し、英語や外国文化に親しむ機会を提供するとともに、小学校・中学校・清里高校に派遣し、授業の充実を図り、新学習指導要領により令和2年度から本格的に実施される小学校高学年の「英語」の授業、中学年の「外国語活動」に対応してまいります。

「コミュニティ・スクール」の取り組みは、地域と学校をつなぐコーディネーターを配置したことにより、地域に根差した教育活動が展開されているところです。

今後は、これまで以上に地域の学習素材を活用し、より質の高い教育活動を推進してまいります。

「小中一貫教育」につきましては、義務教育9年間を見通した、より質の高い教育活動を行うために、その導入について昨年から検討を進めています。

今後は、小中一貫教育により、どのような清里の子どもたちを育成していくのかという、「目指す子ども像」を「小中一貫教育推進協議会」で議論し、その具現化のために必要な組織や教育活動について協議を進め、令和3年度からの制度導入を予定しております。

教育環境の整備につきましては、「学校施設長寿命化計画」が策定され、それに伴い現在、清里小学校と学校給食センター改修の実施設計が行われております。今後は、国からの交付金が採択され次第事業に着手できるよう準備を進めてまいります。

また、清里中学校につきましては、体育館の床面の劣化が目立ってきていることから、生徒の安全確保のため修繕を行ってまいります。

スクールバスの運行につきましては、小学校の統廃合に伴い再編整備してきたところですが、本年度は一部主要な乗降場所に標識を設置し、児童生徒の安全確保に努めてまいります。

学校給食につきましては、野菜を中心に地元産食材を取り入れ、おいしさと栄養バランスに配慮し

た献立を提供しております。

本年度は、古くなった食器箱や料理を運ぶコンテナなどを更新し、安全性を高めるとともに、衛生管理を徹底してまいります。

また、子育て支援の一環としての「給食費の無償化」について、引き続き実施し、保護者の経済的負担を軽減してまいります。

清里高校につきましては、コミュニティ・スクールを導入し、積極的にまちづくり活動に参加し、地域に密着した学校として大変熱心な教育活動が行われております。

近年は、町外から通学する生徒も増え、北海道教育委員会が指定する地域連携特例校として、生徒数も100名を超え、懸案となっておりました間口の確保も一定程度の目途がたったと認識しております。

町および教育委員会といたしましては、引き続き「清里高校総合支援対策事業」を実施し、より魅力ある学校づくりが推進されるよう、支援してまいります。

なお、現在、文部科学省が強く推し進めている教育のICT化による、児童生徒一人1台のパソコン整備につきましては、今後、国から示される交付金の内容等により検討し、実施にあたっては補正予算対応にて整備してまいりたいと考えております。

2. 「まなびの輪が人とまちを育む社会教育の推進」

社会教育の推進につきましては、令和2年度が最終年度となる「第8次清里町社会教育中期計画」を基本としながら行ってまいります。

幼児期の教育につきましては、子どもが成長していくための基礎が培われる時期であることを踏まえながら事業を実施してまいります。

「ひよっこクラブ」の実施につきましては、体を動かして遊ぶことの楽しさを体感させるとともに、保護者に対しても、子どもの体力づくり、体づくりといった観点から学習機会を提供してまいります。

また、外国人英語講師の保育所と幼稚園への派遣や、図書館で実施する「読み聞かせ会」などは、子どもの感性を培うことを主眼として継続実施してまいります。

青少年教育につきましては、子ども会・女性団体・青年団体・地域づくり団体・スポーツ推進委員・図書館・生涯学習総合センターなどが実行委員会を組織して実施している「きよさと子ども塾」を1年をとおして実施し、子どもたちに様々な体験学習の機会を提供してまいります。

また、中高校生を対象として、学校や地域のリーダーとして活動できる人材の育成を図ってまいります。

「学童保育」につきましては、小学校の統廃合に対応して適切に運営を行っておりますが、支援を必要とする児童の増加などもあることから、保育の体制や内容について検討し、安全に配慮しながら実施してまいります。

国際理解教育につきましては、学校教育の項目でも述べましたとおり、「外国人英語講師」を2名配置し、幼稚園・保育所・小学校・中学校・清里高校に対し、外国文化の理解、語学学習など、それぞれのニーズに応じて派遣してまいります。

また、清里高校1年生を対象とした「海外派遣研修事業」並びに、モト工力高校と清里高校間で実

施しております「交換留学生事業」につきましても継続実施し、グローバルな人材育成に努めてまいります。

成人を対象とした学習支援といたしましては、地域課題や現代的課題を共有し掘り下げる「清里みらい塾」、主体的に学ぶ意欲を育み、仲間づくりを目指した「おとなの部活動」、外国の文化や暮らしに学ぶ機会としての「まなびすと海外派遣研修事業」などを実施してまいります。

高齢者を対象とした学習機会の提供としては、「ことぶき大学」を開講し、近年高まる学習意欲に対応したプログラムを提供するとともに、コミュニケーションの場としても内容の充実に努めてまいります。

芸術文化活動につきましては、幼児・児童・生徒を対象とした「青少年芸術劇場」を各学校と連携しながら実施してまいります。

また、生涯学習総合センターを会場とした「プラネットステージ公演」を継続実施し、心にうるおいと感動を与える優れた芸術文化の鑑賞機会を提供してまいります。

さらに、町民の文化活動を支援し、発表の機会を提供する「町民文化祭」「小中高校音楽発表会」「まちかどギャラリー」を文化連盟や各学校と連携しながら実施してまいります。

生涯スポーツの推進については、児童生徒の心身の育成、成人の健康づくりや健康維持、競技力の向上、仲間づくり、指導者の養成といった目的を明確にした各種講座を開設してまいります。

併せて、スポーツ協会などの団体との連携、各種大会への参加補助、指導者育成のための研修会参加補助などを行い、町民のスポーツ活動を支援してまいります。

「斜里岳ロードレース大会」は本年度第43回を迎えますが、参加者が年々増加している一方、大会を運営するボランティアが足りない状況もでてきております。

今後につきましては、スポーツ協会をはじめとした関係団体とも十分協議しながら運営体制の充実に努めてまいります。

また、近年、箱根駅伝の選抜チーム入りを果たしている東京大学陸上運動部の合宿についても後援会と連携を図りながら受入れを行い、合宿支援のみならず、児童生徒、町民との積極的な交流の場を設けてまいります。

図書館を中心とした読書活動の推進につきましては、「図書館まつり」などの各種行事を実施しながら、読書意欲の喚起を図ってまいります。

さらに、蔵書や視聴覚資料の一層の充実を図るとともに、図書館だよりやホームページを活用した情報の提供、他図書館との相互貸借やリクエストサービスなども実施しながら、利用者サービスの向上に努めてまいります。

司書有資格者の小中学校への派遣については、学校図書館の充実のみならず、教職員と連携を図りながら教育活動を支援してまいります。

社会教育施設につきましては、「一般社団法人清里町・スポーツ文化施設管理協会」に図書館、郷土資料館並びに各種スポーツ施設の運営管理を委託してまいります。

オープンから22年を経過した生涯学習総合センターにつきましては、施設の老朽化が散見され、計画的な修繕が必要な状態となってまいりました。

本年度につきましては、移動観覧席や各部屋の建具、施設全体を網羅する空調設備などについて修繕を行い、施設の長寿命化と学習環境の整備に努めてまいります。

また、施設周辺のインターロッキングの一部改修並びにモトエカ広場維持管理のための草刈機の更新を行ってまいります。

清里トレーニングセンターにつきましては、一部アスベストが使用されている煙突について、改修工事を行ってまいります。

このほかの施設につきましても、それぞれ経年劣化がみられることから、今後は計画的な改修を行い、安全で快適に利用できるよう施設の維持に努めてまいります。

最後に、令和2年度は5年に1度の「教育推進計画」並びに「社会教育中期計画」策定の年であり、町では10年に1度の総合計画が策定される年でもあります。

計画策定にあたっては、学校関係者並びに社会教育委員、スポーツ推進委員などによって構成される策定委員会に諮問し、十分に議論を重ねていただくとともに、本町が抱える教育課題をしっかりと掘り下げながら進めてまいります。

以上、令和2年度の教育行政執行にあたっての基本方針と主な施策について申し上げます。

学校教育につきましては、小学校では本年度、中学校では来年度より新学習指導要領による指導がはじまります。

そこでは、「学びを人生や社会に生かそうとする、学びに向かう力・人間性等」「生きて働く知識・技能」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等」を身につけることが求められております。

さらに、社会教育においては、経済的発展や社会的課題の解決を目指した Society5.0 といわれる新たな社会に対応した人材育成が求められています。

これらの取り組みは、日本という広い意味では本町発展のために必要なことであり、取り組んでいくことが求められておりますが、私たちの足元を見渡した時、そして子どもたちに視線を向けた時には、より現実的な課題や目指すべき方向性が見えてまいります。

教育委員会といたしましては、町が定める新たな「清里町総合計画」や「清里町教育大綱」との整合性を図りながら、「清里町教育推進計画」を策定し、本町の地域課題、学習課題解決のための施策の実施と学習環境の整備を行ってまいります。

議員各位並びに町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます、教育行政執行方針といたします。